

第3学年通信

中央区立晴海西中学校
第3学年
令和7年10月25日
第16号

第2回進路説明会がありました

23日、第2回進路説明会が行われました。7月に行った進路説明会から、さらに具体的な話や、受験（験）の方式などについても説明がありました。また、11月と12月上旬には、三者面談が予定されています。夏休み中に行った面談から、自分で進路について考える時間をしっかりもつことはできたでしょうか。進学を考えている人はすでに上級学校への学校説明会に参加したり、個別相談に行ったりしていることと思います。

自分の進路は自分で考え、切り拓いていくものです。みなさんが自分自身の意思で考え行動していく進路を、学校・学年の先生たちは全力でサポートしていきます。保護者の方たちとよく相談をして三者面談に臨んでください。

「道徳」の授業紹介

毎週道徳の時間では、学年の先生方がいろいろなアプローチで授業を行っています。道徳の授業とは、何かを覚えるのではなく、考えることが大切です。教材となる文章を読んだり、グループワークをしたりすることで、自分の今を考え、そして明日からの生活に生かしていく。そのような気持ちで道徳の時間に向かってほしいと思います。

今回は道徳の教科書にある「加山さんの願い」という教材を使った授業の感想を一部紹介します。授業では、高齢者のお宅訪問ボランティアをする加山さんの思いについて考え、人が支えっていく上で必要なことは何かを話し合いました。

A組	・思いやりをもつ、他人の意見を否定するのではなく、わかろうとする。対立したとき、協力する思いやり、やさしさをもつ。 ・支え合いとは、一方通行ではないものである必要があると思う。 ・自分が他人にいいことをしたら、他人からも返ってくると思う。 ・他人と過ごし方や性格、考え方が人の数だけあると改めて感じました。だからこそ、相手ことをよく知ろうとすること、思いやりなどが人と接する上で大切だなと思いました。今までも意識してきたつもりだったけど、もう一度よく考えたいと思います。 ・他者の意見や言葉を尊重して、お互いに成長できるようなものにする。
B組	・年をとっても誰かのためにとボランティアする行動や、何かを言われても継続する行動はすごいと思った。助け合うということを当たり前だと思う気持ちが大切だと思った。 ・一人一人がお互いに気を遣い合い、何かしてあげたいと思えるような関係を築き上げる。 ・相手のすべてを理解するのに労力を注がない。自分を理解してほしいと思すぎない。 ・人に全く関わらないことは絶対はないし、今の生活ではたくさんの人と関わっているので、その中でお互いに尊重し合い、理解し合うことはとても大切だと思いました。 ・普段人と接するときは楽しく話したりしているけど、授業を通して相手のことを考える大切さを再確認できて、少し気をつけようと思った。

教材の中で「こんなことは当たり前だ」という声がありました。それは皆さんが当たり前だと思うすばらしい心をすでにもっているからです。道徳の時間では、「当たり前」ということももう一度自分自身の生活の中で振り返ってみて、その当たり前を本当にできているのか、を考えるきっかけにしてほしいと思います。

《今後の予定》

日	曜	学校行事・学年行事	給食	1	2	3	4	5	6	備考
27	月	【B時程】	○	①	②	③	④	⑤	⑥	
28	火		○	①	②	③	④	⑤	⑥	
29	水		○	①	②	③	④	⑤	⑥	
30	木	【B時程】	○	①	②	③	④	⑤	⑥	
31	金	【B時程】 ⑦委員会	○	①	②	③	④	⑤	⑥	

Ｔのひとり言 おすすめの本♪
勉強の合間、少しの休憩も大切です

『クスノキの番人』

(作者) 東野圭吾

クスノキという木を見たことはありますか。クスノキの葉からはツンとする香りがするそうです。独特な芳香をもつことから、葉や煙は防虫剤や鎮痛剤として用いられ、「薬の木」を語源とする説もあります。その効果から家具や仏像などにも広く使われてきた歴史がある巨木の一種です。

そんなクスノキをご神木としてかかえるある神社が本作品の舞台です。特別な日の夜、クスノキに念じれば願いを届けてくれるといわれています。クスノキは、伝えられなかった思いを届けてくれる、願いがかなうといわれています。

自分の思いは、言葉にしなければわからないと思っていたけれど、そうではないのかもしれないと思いました。言葉にしなくても、見つめ合えば、触れ合えば、念じれば、思いは大切な人に届くのかもしれません。そんな奇跡を信じてみたいと思えるあたたかな作品でした。

2026年には映画化も決定している作品です。ぜひ原作を手にとってみてください。